

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス & ヴォーカル I	必修 選択	必修	年次	1・2	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	ダンス & ヴォーカル専攻 K-POPダンサー & アーティスト専攻			(単位)	2	曜日・時限	木曜・4限
【授業の学習内容】							
ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。 自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても口習得する。 *実務経験(Dance & Vocal)：WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、 2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、 2021年6月、2ndアルバム「Inside」リリース(ITunes Store・R&B/ソウル トップアルバム100日本1位) 2021年10月、「Lovely Place」リリース(ITunes Store・R&B/ソウル トップ100日本2位) (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師,2020年4月～TSMにてVocal&Dance講師を行なっている。)							
【到達目標】							
ステージパフォーマンス強化を目的とする。 ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、 ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。							
授業計画・内容							
1回目	個人目標設定を行う						
2回目	腹式呼吸が出来るようになる						
3回目	ステージでのマイクテクニックを知る						
4回目	リズムの仕組みを知る						
5回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる1(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)						
6回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる						
7回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる						
8回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる2(アイソレーション、ポップ、サイドスライド)						
9回目	振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行う						
10回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる						
11回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる						
12回目	試験						
13回目	試験総括(改善点を知る)						
14回目	-						
15回目	-						
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。						
評価方法	1.定期試験 60% 2.出席率 40%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう！						
【使用教科書・教材・参考書】							
iPad(カラオケ音源)、ワイヤレスマイク、ダミーマイク、キーボード、歌詞ノート、スニーカー							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス & ヴォーカルⅡ	必修 選択	必修	年次	1・2	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	ダンス & ヴォーカル専攻 K-POPダンサー & アーティスト専攻			(単位)	2	曜日・時限	木曜・5限
【授業の学習内容】							
ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。 自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても口習得する。 *実務経験(Dance & Vocal)：WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、2021年6月、2ndアルバム「Inside」リリース(ITunes Store・R&B/ソウル トップアルバム100日本1位) 2021年10月、「Lovely Place」リリース(ITunes Store・R&B/ソウル トップアルバム100日本2位) (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師,2020年4月～TSMにてVocal&Dance講師を行なっている。)							
【到達目標】							
ステージパフォーマンス強化を目的とする。 ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、 ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。							
授業計画・内容							
1回目	個人目標設定を行う						
2回目	横隔膜を意識した腹式呼吸が出来るようになる						
3回目	マイクテクニック(声の乗せ方)を知る						
4回目	リズムとグルーブの仕組みを知る						
5回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(体重移動)						
6回目	簡単な動きをつけた時の体の使い方(歌唱)を知る						
7回目	簡単なステップをつけた時の体の使い方(歌唱)を知る						
8回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(リズムを意識して振り付けを行える)						
9回目	振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行う						
10回目	ステージパフォーマンスの流れを知る						
11回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる						
12回目	試験						
13回目	試験総括(改善点を知る)						
14回目	-						
15回目	-						
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。						
評価方法	1.定期試験 60% 2.出席率 40%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう！						
【使用教科書・教材・参考書】							
iPad(カラオケ音源)、ワイヤレスマイク、ダミーマイク、キーボード、歌詞ノート、スニーカー							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜日3限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ、体力作り、ウラ声・オモテ声による発声練習。滑舌練習。インプロゲーム、シアターゲーム、息の体操などを反復して習得する。 ※実務者経験: 桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①自分がイメージした声、滑舌が出来るようになる。腹式呼吸が出来るようになる。 目標②相手に声が届くようになる。							

授業計画・内容	
1回目	講義／発声(メカニズム)について。腹式呼吸のやり方、呼吸の体操の方法を習得する
2回目	演習／ストレッチ・呼吸の体操。表現に必要な声を出すことが出来るようになる
3回目	演習／ストレッチ・体力作り、発声(イエアオウ)が出来るようになる
4回目	演習／ストレッチ・発声(ウラ声・オモテ声)が出来るようになる
5回目	演習／ストレッチ・発声・ストレッチリーダーを決める
6回目	演習／ストレッチ(リーダーによる)発声・滑舌(外郎売)が出来るようになる
7回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる①
8回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる②
9回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる③
10回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる④
11回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑤
12回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑥
13回目	演習／ストレッチ・発声・テスト課題の確認を行う
14回目	演習／テスト(外郎売り)を行う
15回目	演習／ストレッチ・発声・テストの反省会
準備学習 時間外学習	呼吸の体操・滑舌練習。 外郎売を覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	基本の授業です。あせらず、毎日の繰り返し(反復)が大事です。 演技をするための準備を(身体・声)しっかり学ぶこと。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の発音記号 ipad教材(ストレッチのやり方)	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜日3限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ、体力作り、ウラ声・オモテ声による発声練習。滑舌練習。インプロゲーム、シアターゲーム、息の体操などを反復して習得する。 ※実務者経験: 桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①自分がイメージした声、滑舌が出来るようになる。腹式呼吸が出来るようになる。 目標②相手に声が届くようになる。							

授業計画・内容	
1回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる①
2回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる②
3回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる③
4回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる④
5回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑤
6回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑥
7回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑦
8回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑧
9回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑨
10回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑩
11回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑪
12回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑫
13回目	演習／ストレッチ・発声・テスト課題の確認を行う
14回目	演習／テスト(戯曲セリフを抜粋)を行う
15回目	演習／ストレッチ・発声・テストの反省会
準備学習 時間外学習	呼吸の体操・滑舌練習。 セリフを覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	基本の授業です。あせらず、毎日の繰り返し(反復)が大事です。 演技をするための準備を(身体・声)しっかり学ぶこと。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の発音記号 ipad教材(ストレッチのやり方)	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム。公演を通して、与えられた役の練習とその発声法を習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①役を正しく理解し、自分がイメージした演技が出来るようになる。 目標②セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる(サブテキスト)コミュニケーション力、人間力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ・発声・ゲーム／日本語の文法、その表し方(読み方)を理解する
2回目	ストレッチ・発声・ゲーム／公演用台本配布、初見読みを行い、理解する
3回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読み、脚本解釈を行い、理解する
4回目	ストレッチ・発声・ゲーム／オーディションを行い配役を決める。
5回目	ストレッチ・発声・ゲーム／キャスティング、本読みを行いサブテキストを理解する
6回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読みを行い、役がどう動くか、また小道具・衣装を考える
7回目	ストレッチ・発声・ゲーム／戯曲を通して読み、流れ、動きを考える
8回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、演出における、ミザンスを理解する
9回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、小道具・衣装を用意する
10回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる①
11回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる②
12回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる③
13回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる④
14回目	ストレッチ・発声・ゲーム／通し稽古、公演
15回目	ストレッチ・発声・ゲーム／反省会
準備学習 時間外学習	授業の予習、復習、オーディションに対する予習。 台本下調べ(時代背景・漢字等)。 セリフ・動きを覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	演技が説明にならないように、サブテキストを持って演技をすることを考えてください。 自分がイメージしたことが出来るような身体作りが大切。あせらず一歩一歩進んでゆくことが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の文法、分例 公演のための脚本	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム。公演を通して、与えられた役の練習とその発声法を習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①役を正しく理解し、自分がイメージした演技が出来るようになる。 目標②セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる(サブテキスト)コミュニケーション力、人間力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ・発声・ゲーム／前期の振り返りを行い、今後の課題を理解する
2回目	ストレッチ・発声・ゲーム／公演用台本配布、初見読みを行い、理解する
3回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読み、脚本解釈を行い、理解する
4回目	ストレッチ・発声・ゲーム／オーディションを行い配役を決める。
5回目	ストレッチ・発声・ゲーム／キャスティング、本読みを行いサブテキストを理解する
6回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読みを行い、役がどう動くか、また小道具・衣装を考える
7回目	ストレッチ・発声・ゲーム／戯曲を通して読み、流れ、動きを考える
8回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、演出における、ミザンスを理解する
9回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、小道具・衣装を用意する
10回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる①
11回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる②
12回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる③
13回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる④
14回目	ストレッチ・発声・ゲーム／通し稽古、公演
15回目	ストレッチ・発声・ゲーム／反省会
準備学習 時間外学習	授業の予習、復習、オーディションに対する予習。 台本下調べ(時代背景・漢字等)。 セリフ・動きを覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	演技が説明にならないように、サブテキストを持って演技をすることを考えてください。 自分がイメージしたことが出来るような身体作りが大切。あせらず一歩一歩進んでゆくことが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の文法、分例 公演のための脚本	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜日1限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム。公演を通して、与えられた役の練習とその発声法を習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①役を正しく理解し、自分がイメージした演技が出来るようになる。 目標②セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる(サブテキスト)コミュニケーション力、人間力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ・発声・ゲーム／日本語の文法、その表し方(読み方)を理解する
2回目	ストレッチ・発声・ゲーム／公演用台本配布、初見読みを行い、理解する
3回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読み、脚本解釈を行い、理解する
4回目	ストレッチ・発声・ゲーム／オーディションを行い配役を決める。
5回目	ストレッチ・発声・ゲーム／キャスティング、本読みを行いサブテキストを理解する
6回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読みを行い、役がどう動くか、また小道具・衣装を考える
7回目	ストレッチ・発声・ゲーム／戯曲を通して読み、流れ、動きを考える
8回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、演出における、ミザンスを理解する
9回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、小道具・衣装を用意する
10回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる①
11回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる②
12回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる③
13回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる④
14回目	ストレッチ・発声・ゲーム／通し稽古、公演
15回目	ストレッチ・発声・ゲーム／反省会
準備学習 時間外学習	授業の予習、復習、オーディションに対する予習。 台本下調べ(時代背景・漢字等)。 セリフ・動きを覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	演技が説明にならないように、サブテキストを持って演技をすることを考えてください。 自分がイメージしたことが出来るような身体作りが大切。あせらず一歩一歩進んでゆくことが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の文法、分例 公演のための脚本	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜日1限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム。公演を通して、与えられた役の練習とその発声法を習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①役を正しく理解し、自分がイメージした演技が出来るようになる。 目標②セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる(サブテキスト)コミュニケーション力、人間力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ・発声・ゲーム／前期の振り返りを行い、今後の課題を理解する
2回目	ストレッチ・発声・ゲーム／公演用台本配布、初見読みを行い、理解する
3回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読み、脚本解釈を行い、理解する
4回目	ストレッチ・発声・ゲーム／オーディションを行い配役を決める。
5回目	ストレッチ・発声・ゲーム／キャスティング、本読みを行いサブテキストを理解する
6回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読みを行い、役がどう動くか、また小道具・衣装を考える
7回目	ストレッチ・発声・ゲーム／戯曲を通して読み、流れ、動きを考える
8回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、演出における、ミザンスを理解する
9回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、小道具・衣装を用意する
10回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる①
11回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる②
12回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる③
13回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる④
14回目	ストレッチ・発声・ゲーム／通し稽古、公演
15回目	ストレッチ・発声・ゲーム／反省会
準備学習 時間外学習	授業の予習、復習、オーディションに対する予習。 台本下調べ(時代背景・漢字等)。 セリフ・動きを覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	演技が説明にならないように、サブテキストを持って演技をすることを考えてください。 自分がイメージしたことが出来るような身体作りが大切。あせらず一歩一歩進んでゆくことが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の文法、分例 公演のための脚本	